



# 南信州有志保育士連合 かぶきぐみ 傾奇組

大人の笑顔は子どもの笑顔、子どもの笑顔は飯田市の希望、  
日本の子育ては傾奇組から!!

## Q. 活動を始めたきっかけは何ですか？

2014年、飯田下伊那で保育士として働く男性が集まり、保育について語り合う場を設けたことが始まり。定期的な語り合いを行う中で、「県内外の研修に参加し学んできた事や、保育の専門性を他の保育士や親子に伝える」ことの重要性が見えてきました。



## Q. どんな活動をしていますか？

飯田下伊那の保育士が公立・私立問わず集まり、さまざまな企画・講座を通して「子育てが楽しい！」と思ってもらえる活動を行っています。

年	主な内容
2014年	谷口 國博氏（創作あそび歌作家）を飯田下伊那で初めて招聘し、親子・教育者向けコンサートを企画運営（親子200名、教育者100名を動員）
2015年	佐藤 弘道氏・谷口氏を師事し、子ども向け体操やダンスを学ぶ
2016年	<ul style="list-style-type: none"> <li>初単独企画を開催。教育者25名に体操・ダンスをレクチャーし、「保育園で使い易い」と好評を得た（→以降、毎年開催）</li> <li>初の親子対象の親子遊び講座を開催（親子20組参加）</li> </ul>
2017年	<ul style="list-style-type: none"> <li>親子でけん玉・コマ遊びを開催（親子50組参加）</li> <li>佐藤 弘道氏から学び、親子あそびに更なる専門性と知識を加えた形を作り始める</li> </ul>
2018年	<ul style="list-style-type: none"> <li>飯田短期大学にて、学生・教育者向け「シン!!子ども体操・ダンス講座」を開催（40名参加）</li> <li>佐藤 弘道氏を飯田下伊那へ初招聘し、最先端の親子遊び・指導法を親子100組・教育者250名に伝えてもらうため、企画運営</li> </ul>
2019年	さくら保育園の参観日で、親子体操の講師を行った（親子30組参加）
2021年	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ感染症の為、屋外で出来る企画として「親子で竹筒飯盒！」を三穂地区で開催（親子20組参加）</li> <li>「コロナ渦でも親子体操！」の為、SNSへ親子体操動画を掲載</li> </ul>
2022年	<ul style="list-style-type: none"> <li>飯田短期女子大学（現・飯田短期大学）オープンキャンパスの特別講師として講座を行う（50名参加、2023年・2024年も実施）</li> <li>「自然で遊ぼう！in三穂」を開催（親子20組、運営ボランティア2名参加）</li> <li>飯田市内保育園へコマ・けん玉講師として出張（泰阜村等へも出張）</li> <li>三穂地区文化祭にてコマ・けん玉・伝承遊び講師として参加（2023年も参加）</li> <li>飯田市内公民館のパパ講座・父親学級にて講座を行う（山本・鼎）</li> <li>NPO法人おしゃべりサラダ 座光寺つどいの広場の親子ふれあいで講座を行う</li> </ul>
2023年	<ul style="list-style-type: none"> <li>座光寺小学校PTA 親子レク講師</li> <li>飯田市内保育園4園の参観日 親子遊び講座</li> <li>中川村立保育園の親子レク 講座</li> </ul>
2024年	<ul style="list-style-type: none"> <li>飯田短期大学 幼児教育学科 特別講義</li> <li>長野県知事 阿部知事との「南信州子育てミーティング」参加</li> <li>佐藤 文哉氏・谷口氏を招聘し、エス・バードで「傾奇組結成10周年イベント」を主催 ボランティア：飯田市内高校生、保育士、飯田短期大学学生より計50名参加 参加：保護者130名、子ども150名、教育者130名、計410名参加 （飯田下伊那、松本市、長野市、上田市、恵那市、愛知県、三重県より参加）</li> </ul>



2014年からの諸活動で参加して下さった方は、大人1500名以上 子ども2000名以上。

### Q. どんなメンバーで活動していますか？

主に、飯田下伊那で保育士として勤務する人  
飯田短期大学の教授、学生、飯田市各地域のボランティアさん  
協賛企業15社様に賛同いただいています。



### Q. どんな社会課題・地域課題を解決しようと活動していますか？

- 山間部における人口減少に対し、保育・子育てはどうなっていくのか問題提議や協議を行ってきた。
- 男性の育児参加のため、子育てのコツや楽しさをレクチャー
- 学生を巻き込み、次世代の保育士・教育者の育成と楽しさを伝え、保育士を目指す人を増やしてきた。
- 大人が本気で楽しんでいる姿を、子どもや保護者、地域に知ってもらい、活性化に貢献してきた。

### Q. 活動をふり返って感じることは？

10年前と今では、保育観や子育て観、社会情勢の違いもありますが、目指している方向は間違っていないと感じています。理由は、参加して下さった方々の笑顔や感想に「〇〇が楽しかった」「飯田下伊那をもっと盛り上げてほしい」「こんなことしてほしい！」というポジティブな感想が多く聞かれたからです。メンバーも子育て中の者がありますが、「もっとこうしたい！」と10年間変わらず意欲的です。



### Q. 今後の展望はありますか？

親子で遊んだ記憶、我が子の笑顔は時代や社会が変わっても宝物・財産です。  
飯田市で子どもを産み育てたい、飯田市でよかった、また飯田に帰ってきたい、飯田であんなこととして遊んだな、週末帰ろうかな、と人生や心の片隅に飯田市や親子の温もりがある人や地域を育てていきたいと思います。それが日本に広がり、もっと子育てや保育が楽しいと思えるように私たちは活動していきます。

子どもたちの未来は無限大！！俺たちの夢はまだまだ終わりません！

代表者	生島 雄太	設立	平成 26 年	問合せ先	090-3336-1426(担当:生島) ikkunrangoku4351@gmail.com
活動日	不定期	活動場所	飯田市内 公民館	活動エリア	飯田市、下伊那郡
会員数	13名(協力者10名)	会員募集	あり	会費	500円/年
HP・SNS	   kabukigumi.hoiku		 kabukigumi		